

第36回 茨城県移動性・安全性向上委員会 議事要旨

開催日時 令和7年8月29日(金) 13:30~15:30

開催場所 常陸河川国道事務所 2階 会議室 E・F・G

<議事等>

1. 移動性関係議題について
 - 1-1 これまでの検討経緯と今回の論点
 - 1-2 渋滞対策の進捗状況整理
 - 1-3 主要渋滞箇所の見直し
 - 1-4 ピンポイント渋滞対策
 - 1-5 TDM 施策
 - 1-6 その他
2. 安全性関係議題について
 - 2-1 これまでの経緯
 - 2-2 第35回委員会における主な指摘事項と対応
 - 2-3 幹線道路の交通安全対策検討
 - 2-4 生活道路の交通安全対策検討
 - 2-5 今後のスケジュール



<審議結果>

1. 移動性関係議題について

- 渋滞対策により改善が見られる箇所の見直しについて、主要渋滞箇所を2箇所(静入口交差点、木田余跨線橋東交差点)解除とし、1箇所(小鶴西交差点)は指標をクリアしているが、従道路側にて別事業が事業中であるため、経過観測とすることで承認を得た。
- 一定期間選定要件以下の箇所の見直しについて、道路利用者等ヒアリングの調査方針(10箇所)について、承認を得た。

2. 安全性関係議題について

- 対策効果未発現箇所の追加対策検討について、対策内容の承認を得た。
- 今後の事故ゼロプランの進め方について、第8期の選定結果の承認を得た。

<主な意見>

1. 移動性関係議題について

委員長 ○ これまで審議している TDM 施策について、日立市で設立された「次世代未来型都市共創プロジェクト」と連携・協力し、日立市内の渋滞対策に対応していくこととなったため、規約第7条の3により、日立市に参加していただき概要を説明いただくこととした。

1-3 主要渋滞箇所の見直し

委員 ○ 静入口交差点について、主道路側は速度改善しているが、従道路側はほぼ変化なし、または若干悪化しているように見えるが、どのように理解すればよいか。

事務局 ○ 従道路側については、原因は明確ではないが、現地確認では信号1回で捌けており、

指標もクリアしているため問題ないと考えている。。

委員 ○ 従道路側の渋滞の指標について、どこまで改善を目指すか検討する必要がある。信号の停止時間の関係でこれ以上の改善が難しいという場合や、主道路側が改善していても従道路側がわずかに指標を下回ることによって主要渋滞箇所から解除できない場合があるため、従道路側については別の考え方に基づいて解除判定を行うなど、今後整理できると良い。

事務局 ○ いただいた意見を参考に、考え方の整理を進める。

委員長 ○ (仮称) 木田余立体橋交差点は、上記のような従道路側の速度低下により解除できない箇所となっているのか。

事務局 ○ その通りである。現状の解除フローでは指標閾値を下回ることから解除できないため、経過観察となる。

委員長 ○ 静入口交差点および木田余跨線橋東交差点を主要渋滞箇所から解除することを承認する。小鶴西交差点については、指標をクリアしているが、従道路側にて別事業が事業中であるため、経過観察とする。

委員長 ○ 一定期間選定要件以下の箇所については、今後ヒアリングや状況分析を行い、次回委員会にて情報提供をいただいた後に審議していきたい。

1-4 ピンポイント渋滞対策

委員長 ○ 国道6号涸沼前川橋周辺における局所渋滞対策箇所については、左車線・右車線の両方から車線変更があり、移動性よりも安全性の方に課題があるように感じている。

1-5 TDM 施策

委員長 ○ 車を賢く使うための行動変容に関する研究・取組として、日立市においてもノーマイカーデー等の取組は過去にあったと記憶している。

日立市 ○ これまでも日立市では、パークアンドライドやノーマイカーデーなどの施策を行ってきたが、継続的な実施には課題があることから、一過性に終わっている。公共交通への転換を図りたいが、通勤者の視点としては、自家用車に頼らざるを得ない現実もあることから、時差出勤やカープール等により自家用車をうまく使いながら、絶対量を減らしていくということも考えている。これまでの課題を踏まえ、まだ行っていないTDM 施策もあることから検討を行っていきたい。

委員長 ○ ドライバーの身になって考えると、明日が雨なら渋滞するという情報が前日に分かれば、30分早く出ようなど、行動変容につながると考える。曜日や天候に基づいた予報のような情報を提供できると良い。

日立市 ○ 現在取り組んでいる渋滞状況の可視化において、天候・曜日・大企業の長期休暇時における交通状況の傾向が分かってくる。そのような予測が可能なところをHP等の媒体で周知を行うことで、行動変容を図っていきたい。

委員 ○ ここ最近の日立市の取組は、過去と本気度が違うと感じている。地元の大企業職員が日立市に常駐しているなど、全国的にも新しい体制であるため、茨城県全体にも拡大していければ良いと思う。また、何台減らせば良い等の目標が見えるようになったことが良いと思っている。近年は以前よりも、混んでいる時と混んでいない時の差が明確になっており、少し台数を減らすだけでも効果が発現する可能性が考えられる。委員会としてはこの取組をサポートしつつ、さらに広げていきたい。また、バス利用者を増やしていく取組についても、ぜひ検討していただきたい。

1-6 その他

委員長 ○ GW の混雑状況について、利根川渡河部は橋の数が足りていない。GW 中は若草大橋を無料開放するなど、対策を検討する必要がある。

委員 ○ GW のひたちなか・大洗エリアにおけるパークアンドライドについて、シャトルバスに乗ったほうが何分早いといった内容や、シャトルバスで立ち寄れるスポットなど、+αの情報提供ができると良い。

2. 安全性関係議題について

2-2 第35回委員会における主な指摘事項と対応

一般国道4号古河市大堤交差点について

委員 ○ 国道4号大堤交差点は、交差する国道354号で慢性的な渋滞が発生しており、広域的な対策が必要である。そのため、国道354号の管理者である茨城県においては、古河市とも連携を図り、主体的かつ具体的に対策に取り組むべき。

委員長 ○ 国道4号を横断する他の道路の交通容量が小さいため、国道354号に交通が集中して渋滞が発生していると考えられる。

委員 ○ 対策案の国道4号の車線運用について、資料の図だと、それぞれの直進車線の正面に対向の右折車線があるように見えてしまう。

事務局 ○ イメージ図であり、今後、関係機関と協議をして具体的な対策を決定する。

委員長 ○ 設計の段階で、混乱のないような車線運用としていただきたい。

委員 ○ 具体の対策内容案に、左折フリーレーンの本線接続とあるが、合流車線を短くする理由は何か。合流車線は長い方が安全かつ円滑に合流ができると考えられる。

事務局 ○ 頂いた意見を踏まえ、今後、関係機関と協議をして具体的な対策を決定する。

2-3 幹線道路の交通安全対策検討

一般県道237号つくば市吾妻1丁目南交差点について

委員長 ○ 看板（イラスト版）設置の対策案について、複数枚設置することを検討してほしい。また、隣接する学園西交差点の右折レーンが短いことで、第3車線まで車両がはみ出しているため、第2車線に交通が集中し渋滞している。しかし、第1車線は比較的空いているため車両の走行速度が高い。このように、車線によって速度が異なっている状況を少しでも解消できると良い。

2-5 今後のスケジュール

事務局 ○ 合同現地診断を秋頃開催予定としている。

○ 次回委員会を2月頃開催予定としている。

以上